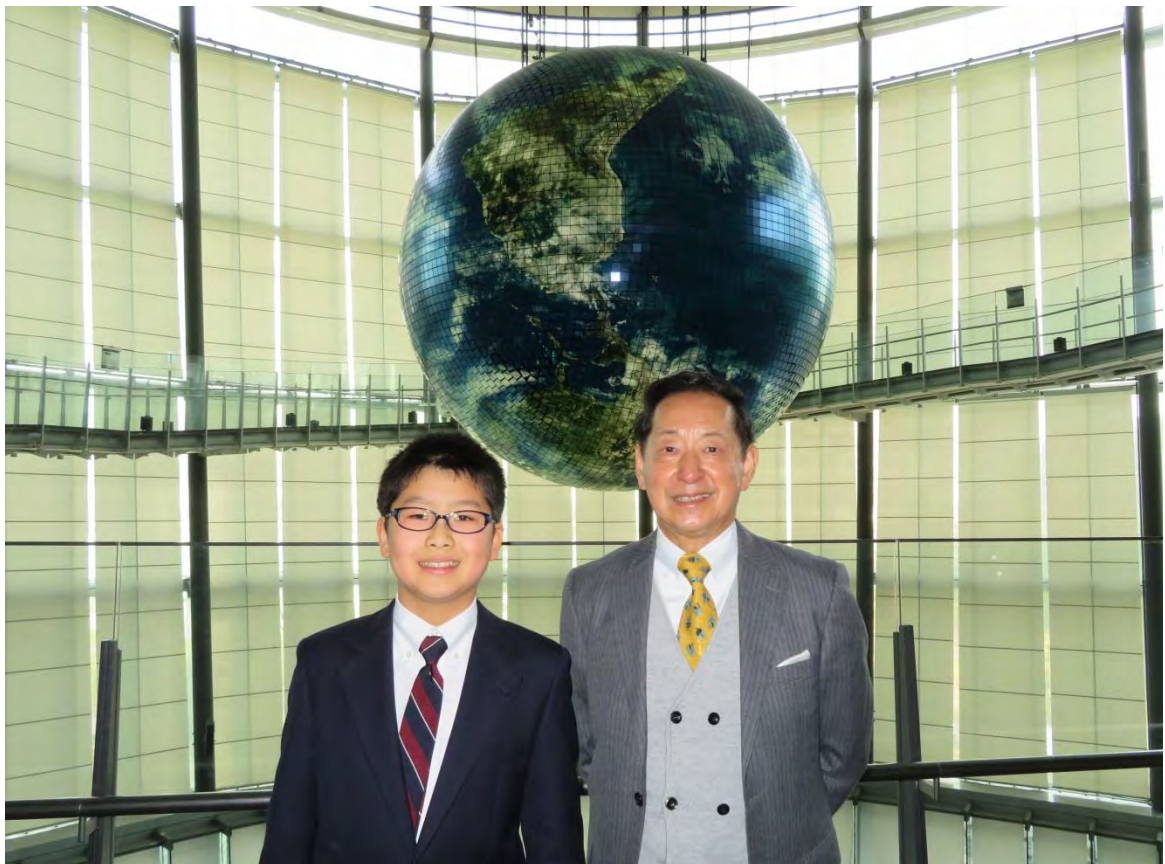


平成30年度

あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト

チャレンジの軌跡

< 記 録 集 >



旭川市子育て支援部子育て支援課青少年係



『子どもたちが夢や希望を持って
健やかに成長できるまちに』

旭川市長 西 川 将 人

次代を担う子どもたちが、様々な体験や活動を通して、自らの未来を切り拓き、社会で活躍する大人になることは、これからのまちの発展のために非常に重要です。

本市では、市民・団体・企業などと連携し、子どもが夢や希望を持って様々な学びや経験をしてほしいと、「あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト」を今年度初めて実施しました。市内の中学生から、将来の夢に向けたチャレンジを募集したところ、31件の応募があり、一次、二次選考を経て、大賞1名、奨励賞4名を選定しました。二次選考会のプレゼンテーションでは、5名の中学生が将来の夢を熱く語る姿に大変感銘を受けました。

実際の研修においては、日本を代表する研究者や宇宙飛行士がチャレンジの実現を快く引き受けてくださいました。また、市内在住の専門家の皆さんも高い使命感を持って指導してくださるなど、多くの方が夢とチャレンジを支えてくれたことで、子どもたちの夢への応援が実現しました。

今後も「こども生き生き未来づくり」をまちづくりの重点テーマとして、子どもたちが夢や希望を持って健やかに成長できる環境づくりに力を入れるとともに、市民・団体・企業などと連携し、子どもたちが自分の夢を実現する力を付けることができるよう応援してまいります。

目 次

I 事業概要	1
II 平成30年度 研修報告	
大 賞 北海道教育大学附属旭川中学校1年 高野 晴	2～10
奨励賞 旭川市立永山中学校3年 平澤 一紗	11～13
奨励賞 旭川市立中央中学校3年 阿部 颯太	14～15
奨励賞 北海道教育大学附属旭川中学校1年 類家 拓杜.....	16～17
III 31の夢とチャレンジ(平成30年度 応募作集).....	18～50

あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト 事業概要

◆ 事業目的

子どもが夢や希望を持ち、自立して生きる力を身に付けることができるよう、市民、団体、企業、行政などが連携し、多様な経験や学びの機会を提供することで、子どもの主体性を育み、旭川市子ども条例の「子どもの夢や希望を応援するまちづくり」の実現に寄与することを目的とする。

◆ 事業内容

子どもたちから、将来に対する夢を叶えるために「今チャレンジしてみたいこと」を募集し、発表・提案内容を審査の上、選考された企画に対し、実現に必要な支援を行う。

○選定件数 1件 ○助成上限額 1件＝50万円

○選考方法

＜一次選考＞ 書類審査により5件選定

＜二次選考＞ 「夢とチャレンジについて熱く語る発表会」で大賞1名、奨励賞4名を決定

○チャレンジ研修の実施

(1)大 賞 受賞者から希望を聞き、研修先と研修内容について調整し、研修を実施する。
研修実施に係る経費を上限額の範囲内で助成する。

(2)奨励賞 旭川市内の関係機関、企業及び団体の協力が得られる範囲内で、可能な研修を実施する。

○研修報告会

研修実施後に、研修の成果を周知するため、報告会を開催する。（大賞受賞者のみ）

○記録集の発行

実施した研修報告及び応募作についてまとめ、研修の記録集を作成し、中学校や関係機関等へ配付する。

◆ 平成30年度 実施状況

4月20日（金）～5月21日（月）	応募受付（応募31件）
5月25日（金）	一次選考（5件選定）
6月24日（日）	二次選考会（大賞1名、奨励賞4名）
7月上旬以降	研修内容協議・研修実施
1月末	全ての研修終了
2月 9日（土）	研修報告会開催
3月中旬	研修記録集作成・配付

☆ 将 来 の 夢 ☆

『旭川初の宇宙飛行士になり
世界の未来に貢献したい』

☆ 今チャレンジしたいこと ☆ (6月のプレゼンテーション内容)

・毛利さんに会いたい！

未来館で毛利さんに会って質問したい

⇒ くじけず努力し続けられる

・宇宙工学について知りたい！

静岡大学での宇宙エレベーターについての講義

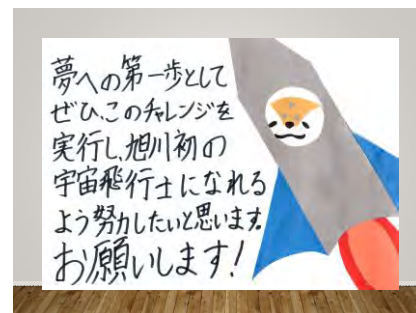
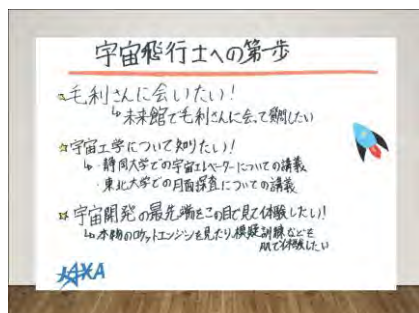
東北大学での月面探査についての講義

⇒ 自分の考えが深まる

・宇宙開発の最先端をこの目で見て体験したい！

本物のロケットエンジン等の見学，模擬訓練体験

⇒ 夢が現実になづく



☆ チャレンジ研修スケジュール ☆

9/29(土)～30(日)	【研修1】 東北大学 ・29日 記念講演聴講 ・30日 吉田教授の特別講義受講
10/20(土)	【特別研修】 旭川市科学館サイパル ・日本惑星科学会 一般講演会聴講 ・塚本教授，大野上席研究員との対談
12/25(火)～28(金)	【研修2】 日本科学未来館，筑波宇宙センター，静岡大学 ・25日 日本科学未来館で毛利館長と対談 ・26日 筑波宇宙センターで見学，宇宙飛行士模擬訓練・体験 ・27日 静岡大学で山極教授，能見教授の特別講義受講

☆ それぞれのチャレンジ研修報告 ☆

○東北大学での研修（１日目）

～記念講演「はやぶさ2が挑む！太陽系と生命誕生の謎」を聴講～

【日時】平成30年9月29日（土）午後1時45分から午後4時45分まで

【場所】東北大学百周年記念会館 川内萩ホール（宮城県仙台市青葉区川内40）

【講師&講演テーマ】

○東北大学大学院理学研究科 教授 中村 智樹 氏

「小惑星探査機はやぶさ2：リュウグウからのたまため箱をもとめて」

○東北大学大学院工学研究科 教授 吉田 和哉 氏

「挑戦！東北大学から宇宙、そして小惑星探査へ」

【研修内容】

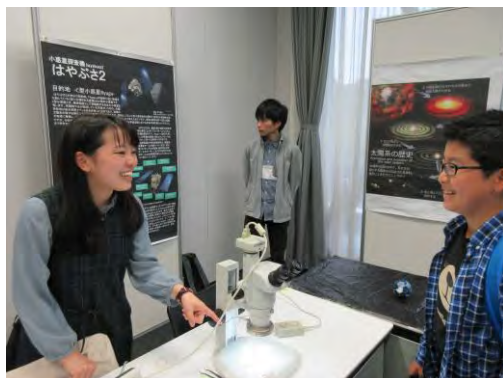
- ・東北大学111周年記念講演聴講
- ・模型展示の見学，月惑星探査ローバーの操縦体験等



【研修を通して学んだこと・感想】

この講演では、今ははやぶさなどの小惑星探査がどのように進んでいるのか、どのようなことを目的として行っているのか、また、それが行われると私たちと宇宙との関係はどのように変わって行くのかなど、興味深いお話を聞くことができました。

また、展示・体験コーナーでは、中村教授が研究している小惑星などに関するパネルの展示や、実物の隕石のかけらなどを見ることができ、こんなものが宇宙から降ってきていると考えるとすごくドキドキしました。ほかにも、実際に月面を探査する車（ローバー）の操縦体験をすることができました。この体験では、僕が東北大学に興味を持つきっかけとなったテレビ番組の「笑ってコラえて」に出演されていた学生の方にも会うことができ、その方などが開発されている赤外線カメラを使用したローバーの操縦を体験して、このローバーのすごさと、操縦することの難しさを知ることができました。



○東北大学での研修（2日目）

～吉田教授による月惑星探査ローバーについての特別講義～

【日時】平成30年9月30日（日）午前9時30分から午前11時45分まで

【場所】東北大学 工学研究科 機械系（宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6）

【講師】東北大学大学院工学研究科 教授 吉田 和哉 氏

【研修内容】

- ・月惑星探査ロボットの研究についての講義
- ・研究用ローバーモデル及び人工衛星製作所等の見学
- ・質疑応答



【研修を通して学んだこと・感想】

「夢みたいを現実に」これは、東北大学工学研究科の吉田和哉教授にいただいた言葉です。

研修の2日目は、吉田教授の研究室で、はやぶさの探査に関することや、月面を探査するロボットなどについて教えていただくことができました。僕が一番印象に残っているのは、月に水があるかもしれないという話です。水があるということは、生き物がいるかもしれないということで、そのようなことを考えるとワクワクします。また、「東北大学に入るためにはどうすればいいのか」など、僕の夢に関する質問にも答えていただき、また一つ夢に近づくことができました。

僕が東北大学での2日間の研修を通して一番大切だと思ったのは、吉田教授がおっしゃっていた、「自分の興味のあることをとことんやる」ということです。これまでは、やらなければいけないことに時間を使ってしまっていたので、今後はやらなければいけないことは早めに終わらせて、自分のしたいこと、興味のあることに打ち込めるよう時間の使い方を工夫したいです。



○日本惑星科学会 ^{ゆりもと}～^{ひさよし} 込本教授，大野上席研究員との対談～

【日時】平成30年10月20日（土）午前9時30分から午後0時30分まで

【場所】旭川市科学館サイパル（旭川市宮前1条3丁目）

【講師&講演テーマ】

○北海道大学理学研究院 教授 JAXA 地球外物質研究グループ長 ^{ゆりもと} 込本 ^{ひさよし} 尚義 氏

「小惑星リュウグウに到着！ただいま観測中のはやぶさ2より」

○千葉工業大学惑星探査研究センター 上席研究員 大野 宗祐 氏

「北海道大樹町で気球実験を行い地球生命圏の上端を探す：Biopause プロジェクト」

【研修内容】

- ・日本惑星科学会一般講演会聴講
- ・垠本教授、大野上席研究員との対談

【研修を通して学んだこと・感想】

日本惑星科学会の講演会に参加し、講師のお二人と対談させていただきました。お二人とも笑顔で話してくださりすごく楽しい対談でした。宇宙飛行士ということに限らず、人生に関することまで教えていただきました。

この研修で感じたことは、大きく二つあります。一つ目は、日本の中だけでも様々なことにチャレンジしている人がたくさんいるということです。まず、垠本教授は、同位体顕微鏡などを開発し、それを使って隕石を調べることで太陽系の起源を探ろうとしています。一方、大野上席研究員は、気球を飛ばし、パラシュートで落下してくる際に成層圏の微生物を回収することで、生命が地球のどれくらい上のところまで存在するのかということを探ろうとしています。僕がお二人のお話を聞いて思ったのは、自分の好きなこと、知りたいことをとことん追求していくことが本当に大切だということです。

そして二つ目に、夢は大切にしていけるべきだということです。垠本教授も大野上席研究員も、小さなころからこのようなことをしたいという夢があったそうです。また、研究をしていく中で、その夢を追いかけて続けられています。僕もこんな風に夢を追いかけて続けられる大人になりたいです。大野上席研究員のおっしゃっていた「夢は変わってもチャレンジし続けることが大切」、垠本教授の「夢を大切に」という言葉を胸に、これからも頑張っていきたいと思います。



○日本科学未来館 ～毛利宇宙飛行士との対談～

【日時】平成30年12月25日（火）午後1時00分から午後4時30分まで

【場所】日本科学未来館（東京都江東区青海2-3-6）

【講師】日本科学未来館館長 宇宙飛行士 毛利 衛 氏

【研修内容】

- ・毛利宇宙飛行士との対談
- ・館内の見学（ミライゲート、セカイゲートの見学・体験、ASIMO 実演、UNI-CUB 体験及び見学ガイド、ドームシアター上映鑑賞等）

【研修を通して学んだこと・感想】

「宇宙の素晴らしい地球人になろう」これは憧れの毛利衛宇宙飛行士にいただいた言葉です。12月25日、まさにクリスマスの日、ついに毛利宇宙飛行士と対談することができました。

この研修は、僕が最も実現したかったもので、直接会えることが決まってからずっとドキドキしていました。対談する部屋で待っている間も、実際どんな雰囲気なのかとすごく緊張していました。

実際にお会いすると、とても優しく僕の考えてきた質問に答えてくださりホッとしました。また、僕のために、サイン入りの本を用意してくださっていたのですが、色紙にもサインを書いてくださり、感動しました。

実際に宇宙に行ったことのある毛利宇宙飛行士にお話を伺うことで、宇宙のこれからなど「未来」について様々なことを考えることができました。例えば、宇宙飛行士になるためには「この先」のことを考えることが大切ということや、これから必要とされるのは、今のような宇宙飛行士ではなく火星に行くような宇宙飛行士であるということ、宇宙飛行士になるために必要なのは、健康、体力、食や、英語やロシア語、これからは中国語など、コミュニケーション面、そして宇宙という危険な環境にさらされる覚悟だということを知ることができました。

この対談の中で最も心に残っているのは、宇宙から地球を見ることで、より地球を知ることができるということです。僕も、外国へ行ったとき、今住んでいる日本の良さを改めて感じることができました。この対談を通して、自分が生きていく「未来」について、そして、僕の目指す「宇宙の未来」について考える大きなきっかけになったと思います。

憧れの毛利宇宙飛行士とこのように対談できたということが本当に幸せで夢のような時間でした。この研修のことを忘れずに、これからもうけず努力していきたいです。



○筑波宇宙センター ～宇宙飛行士の模擬訓練・体験～

【日時】平成30年12月26日（水）午前9時30分から午後4時40分まで

【場所】JAXA 筑波宇宙センター（茨城県つくば市千現2-1-1）

【研修内容】

- ・展示館「スペースドーム」見学ガイドミニツアー参加
- ・筑波宇宙センター見学ツアー
- ・筑波宇宙センター社員食堂で昼食
- ・宇宙飛行士模擬訓練・体験



【研修を通して学んだこと・感想】

この研修では、宇宙技術の最先端を体験することで、今、日本の宇宙開発がすごく進んでいるということを改めて実感できました。

ロケット広場と呼ばれる場所にはH-IIロケットの実機が展示してあり、50mもある本物のロケットの大きさや、技術の精密さを実感し、すごいと思いました。展示館「スペースドーム」には、実際の大きさの人工衛星などの模型や、ロケットや宇宙開発の歴史を感じられるような展示などがあり、感動しました。

社員食堂では、職員の方がいる中で昼食を食べることができました。職員の方が着ていた、背中に「JAXA」と書かれた作業服がとてもカッコ良く、袖を通してみたいと強く思いました。

この日一番楽しみにしていた模擬訓練体験では、実際に宇宙飛行士の試験にも使われた閉鎖環境の施設での本格的な訓練を体験することや、月面との時間差まで再現されたローバーの操作体験もすることができ、宇宙飛行士になるためには、集中力や判断力、コミュニケーション力などが必要であることを学ぶことができました。宇宙飛行士になるためには、やはりたくさんのことを経験することが大切なのだと改めて実感しました。



○静岡大学での研修

～^{やまぎわ}山極教授、能見教授による宇宙エレベーターや衛星開発についての特別講義～

【日時】平成30年12月27日（木）午前10時00分から午後3時00分まで

【場所】静岡大学 工学部機械工学科 [浜松キャンパス]（静岡県浜松市中区城北3-5-1）

【講師】 静岡大学工学部機械工学科 教授 ^{やまぎわ} 山極 芳樹 氏
静岡大学工学部機械工学科 教授 能見 公博 氏

【研修内容】

- ・ 山極教授による「宇宙エレベーター全般について」の特別講義受講
- ・ 能見教授による「衛星開発について」の特別講義受講
- ・ 研究室の学生と昼食、交流



【研修を通して学んだこと・感想】

静岡大学では、山極教授、能見教授からマンツーマンで講義をしていただくことができました。山極教授には宇宙エレベーターの競技会にも参加している工学サークルを紹介していただきました。このサークルの方々とは学食で昼食も一緒にとり、たくさん交流することができました。能見教授には研究室や人工衛星との通信室を見せていただき、小型の宇宙エレベーターの実験機も見ることができました。また、この講義には地元の新聞記者の方も取材に来てくださっていて、とても緊張しました。



この研修で学んだことは、大きく三つあります。一つ目は、今使われている化学ロケットと宇宙エレベーターの差についてです。ロケットは燃費が悪いので燃料が重くなり、コストがすごく高くなってしまいます。また、ロケットが発射するときに出す大量のロケット排出物が環境を破壊しています。それを改善するために考えられたのが宇宙エレベーターです。宇宙エレベーターは、地球と宇宙をつなぎ、物資を運ぶことができるので、一度作ると何度も輸送でき、輸送コストがロケットの100分の1になります。また、排気ガスが出ず、環境に良いです。このことを学び、この宇宙エレベーターができると宇宙へのアクセスが良くなり、人と宇宙との関係が一層近づくことができると考えると、すごく楽しい気持ちになりました。

二つ目は宇宙エレベーターの課題です。地球と宇宙をつなぐひも（テザー）をどのような素材で作るのか、クライマー（エレベーターの昇降機）にエネルギーを届けるにはどうするかなど課題はたくさんあります。このことを学び、宇宙の厳しい環境の中で宇宙エレベーターのような大きなものを作ることはとても難しいのだと思いました。

三つ目は、宇宙エレベーターを実現させるための挑戦です。宇宙エレベーターのクライマーの技術を競う競技会が行われていたり、静岡大学では、STARS-C という衛星を打ち上げ、宇宙で

100mのテザーを伸ばすことができるかどうかの実験を行ったりしています。このことから、宇宙エレベーターも技術の発展により、空想の世界のものから現実のものになってきていますが、まだ課題も多いため、実現するためには挑戦し続けることがすごく大切だと感じました。



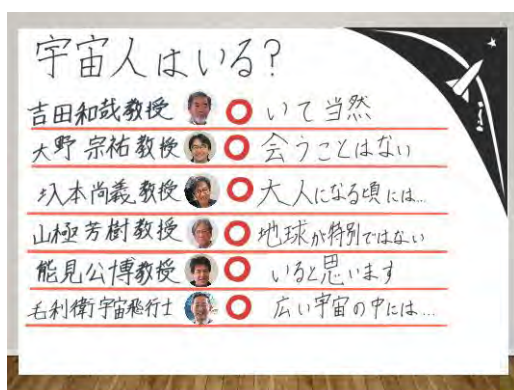
最後に、講義をしていただいた山極教授と能見教授と一緒に写真を撮らせていただきました。僕が手に持っているのは、静岡大学の広報の方からいただいた、静岡大学のマスコットキャラクターの「しずっぴー」のぬいぐるみです。旭川のあさっぴーと名前が似ているという話で盛り上がりしました。

僕だけのために二人の教授が特別な講義をしてくださり、学生の方とも交流できて、すごく充実した楽しい研修となりました。



☆ 講師の方への2つの質問 ☆

今回の研修で出会った講師の方々に、2つの同じ質問をしたので紹介したいと思います。



まず1つ目は、「宇宙人または生命体はいるか」ということです。

左の図表からも分かるとおり、多少意見に差はありますが、全員がいると回答しました。

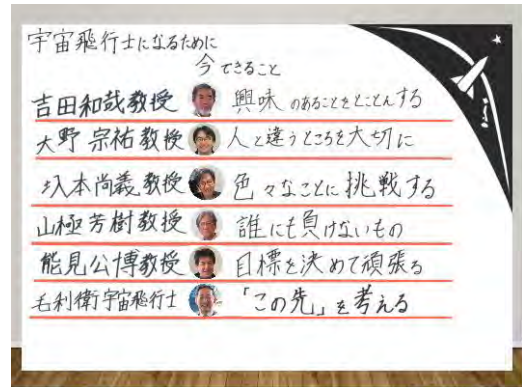
ということは、宇宙には私たちの知らない大きな可能性があるということだと思います。

2つ目は、「宇宙飛行士になるために今できることは」ということです。

吉田教授は、興味のあることをとことんすること。ほかにも、協力することや協調性、語学なども必要だと教えていただきました。

大野上席研究員は、人と違うところを大切に、ということや、いろいろなことを試みること

毛利宇宙飛行士は、この先どのように世界が変わっていくのかを考えることが大切だと話されていました。



僕は、様々なことに挑戦し続けることで、宇宙に行って何を学びたいのかという問いの答えを見つけ、旭川初の宇宙飛行士になり世界の未来に貢献します！



奨励賞 旭川市立永山中学校3年 ひらさわ かずさ 平澤 一紗

○旭川東高校 千葉先生による打楽器についての座学・技術指導

【日時】平成30年9月5日（水）午後4時30分から午後5時40分まで

【場所】旭川東高等学校 音楽室

【講師】旭川東高等学校

吹奏楽局顧問 千葉 一彦 教諭

【研修内容】

- ・ 打楽器の基礎についての説明
- ・ 基礎的なリズムの叩き方についての
実技指導



【研修を通して学んだこと・感想】

打楽器のことについて自分でも調べて学んでいますが、自分の知らない専門的な知識を教わり、もっと打楽器の勉強をしていろいろなことを知りたいと思いました。

また、技術的な部分でも多くのことを学び、さらに成長できると再確認できました。今後も指導を続けてくださると言ってもらえたので、自分にとって大きな出会いとなりました。

○パーカッションアンサンブル「Forest」練習見学



【日時】平成30年9月21日（金）

午後7時30分から午後10時00分まで

【場所】旭川市東旭川公民館 日の出分館

【講師】打楽器演奏団体『パーカッションアン
サンブル「Forest」』

【研修内容】

- ・ 音楽との関わり方、楽器の説明
- ・ 仲間と共に作る音楽について
- ・ Forestのメンバーと一緒に演奏

【研修を通して学んだこと・感想】

仲間と共に知恵を出しながら音楽を作る姿が、今の自分に足りないものだと痛感しました。
将来音楽大学に入らなくても、家庭と両立して大好きな音楽を続けられることがわかり、
大切なことは自分が努力すれば守ることができると思いました。

今回の研修を通して、これからも音楽を続けていきたいという意志がより強くなりました。

○消防音楽隊のコンサートリハーサル見学

【日時】平成30年10月29日（月）午後1時30分から午後4時00分まで

【場所】旭川市民文化会館 大ホール

【講師】旭川市消防音楽隊

【研修内容】消防音楽隊の活動についての説明

11月に行われるフェスティバルでの演奏リハーサルを見学

【研修を通して学んだこと・感想】

消防士として入隊した方が、広報の一環として音楽隊で活動しているとのことで、中には楽器未経験者の方もいてとても大変だと思いますが、訓練として吹奏楽に真剣に取り組む姿を見せていただきました。また、防災を伝える手段に吹奏楽を利用することについて、音楽が生活の中で役に立っていることを改めて感じることができました。

防災を呼びかけるため、老若男女に伝わるように寸劇形式で行うなど、吹奏楽と人の動きを合わせる工夫がされていました。自分がコンサートをやる時も、しっかりとした目的のもとに、伝え方を工夫してやっていきたいです。

○陸上自衛隊第2音楽隊による研修

【日時】平成30年11月29日（木）午後2時00分から午後4時00分まで

【場所】陸上自衛隊旭川駐屯地内

【講師】陸上自衛隊第2音楽隊

【研修内容】

- ・合奏訓練見学・参加
- ・音楽隊の任務、企画業務等についての概要説明
- ・打楽器担当隊員による演奏技術指導



【研修を通して学んだこと・感想】

プロの演奏を間近で聞かせていただき、迫力のあるサウンドに圧倒されました。

消防音楽隊と同じく、業務として音楽に携わる専門の部隊であり、隊員の皆さんは、音楽大学や自衛隊内での厳しい指導を経て、国を背負って演奏していることを知りました。また、外国では軍楽隊と呼ばれていることを隊長から教わりました。

丁寧な説明や指導、貴重な体験をさせていただき、とても良い経験となりました。



○陸上自衛隊第2音楽隊 定期演奏会鑑賞

【日時】平成30年12月16日（日）午後4時00分から午後6時00分まで

【場所】旭川市民文化会館 大ホール

【研修を通して学んだこと・感想】

とても素晴らしい演奏会でした。たくさんのクラシック音楽を演奏できるのがすごいなと思いました。練習量や体力など、いろいろな面で「プロ」ということを改めて実感しました。

「聴き比べてほしい」と言われていたリヴァーダンスですが、本番前でも十分に出来上がっていたと思いますが、それよりもずっと素晴らしい演奏でした。音楽に対するストイックさがとても伝わりました。

今回の研修を通して、市内の素晴らしい演奏者の方々に指導していただき、国内でも十分に音楽を学ぶことができると感じました。また、音楽を楽しむ大人の姿を間近で見せていただいたことで、大人になっても音楽を続けたいという気持ちが強くなりました。この研修で学んだことを忘れず、これからも自分の夢を実現するために頑張ります。

○中野氏との対談（第1回）

【日時】平成30年11月9日（金）午後4時00分から午後6時00分まで

【場所】中野特殊刃物工業株式会社

【講師】中野特殊刃物工業株式会社

代表取締役 中野 よしあき 由唱 氏

【研修内容】

- ・刃物研ぎの基本について
- ・現代における刀の在り方について
- ・打粉などの技術面の指導



【研修を通して学んだこと・感想】

私の夢は刀鍛冶や研ぎ師になることで、自分で木材を選んで刀の鞘を作ったり、研ぎを練習したりしています。刀を作るには免許が必要なので、刀工に弟子入りしたいと思っています。

今回は、本阿弥流日本刀研師 頼住 譲氏の内弟子で刃物研ぎの専門家の中野先生と対談させていただき、日本の刃物が世界的にも注目されていることがわかりました。本阿弥流の中野先生の活躍は以前から拝見していましたので、実際に会って「あこがれの存在が目の前にいる…」と感動を覚えました。ほかの弟子の方の存在や先生の経歴を知り、先生が存在が自分の中で更に特別なものになりました。



また、先生には九州の無銘の脇差を見せていただきました。拵えも立派で研ぎも最上。手入れもよくされていてほれぼれする出来でした。

室町より続く研ぎの流派である本阿弥家には以前から強いあこがれがありましたが、本阿弥流である先生は、立ち居振る舞いや雰囲気から自分が目指しているものを感じました。

○中野氏との対談（第2回）

【日時】平成31年1月29日（火）午後4時10分から午後6時10分まで

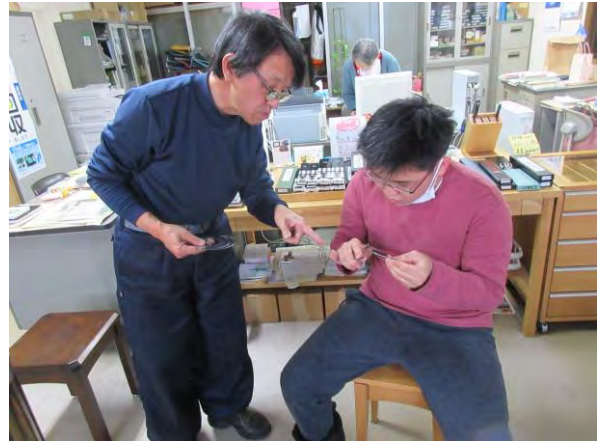
【場所】中野特殊刃物工業株式会社

【講師】中野特殊刃物工業株式会社

代表取締役 中野 由唱 氏

【研修内容】

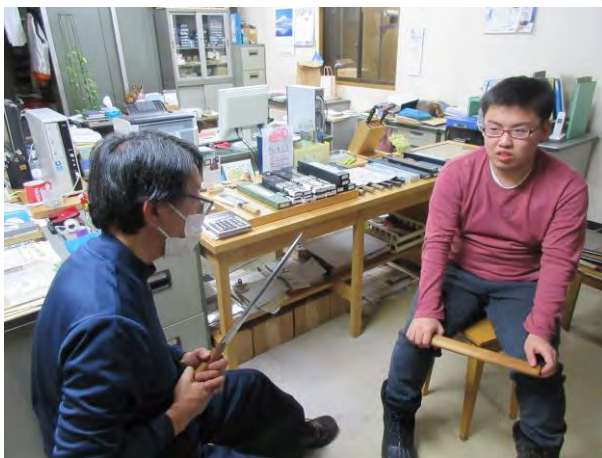
- ・ 日本美術刀剣保存協会について
- ・ 旭川の刀剣文化、頼住先生について
- ・ 砥石について
- ・ 無銘刀の鑑定
- ・ 刃物の手研ぎについて



【研修を通して学んだこと・感想】

今回、先生とまたお話しできる機会をいただきました。私は以前から、日本美術刀剣保存協会（日刀保）に興味を持っていましたが、その入会について、未成年のため御協力をいただけることになりました。

中野先生が預かっている無銘の脇差を見せていただき、日刀保の鑑定をピッタリと当てられてうれしかったです。また、今回は5振りの刀剣を持参し、先生に見ていただきました。その全てを見ていただき、教わったことを今後の活動に生かしたいと思います。



今回は銃砲刀剣類の登録についてもお話をいただきました。貴重な歴史的な文化財を大切にする風習を広めていきたいです。

2回の研修を通して、先生の研ぎに対する思いを間近で感じることができました。先生の貴重な時間を使っていただき、とても感謝しています。これからいろいろなことを教えていただけることになり、うれしいです。

○陸上短距離走の指導

【日時】平成30年12月15日（土）
午後0時30分から午後3時15分まで
【場所】旭川市立緑が丘中学校 3階廊下
【講師】旭川市立緑が丘中学校
陸上部顧問 北村 裕美 教諭



【研修内容】

音楽に合わせて体の使い方や走りを身に付ける『ビートランニング』という練習方法を取り入れている、緑が丘中学校陸上部の北村先生から指導を受けることができました。
準備体操からスタート、全力疾走まで、音楽に合わせて楽しく練習することができました。

【研修を通して学んだこと・感想】

僕は氷上でもっと速く走りたいと思っていて、インターネットなどでいろいろ調べたところ、氷上で走る速さは陸上での速さと関係していることや、NHLの選手でも、スケートで走るスピードが陸上でのスピードを上回る人が少ないことを知りました。そこで、氷上での練習機会が少ない旭川でも、陸上で速く走れるようになれば氷上でも速く走れると考えて、陸上の先生に短距離走を教わりたいと希望しました。

今回教わったのは、タメをつくって遠くへ弾むことです。ビートを感じながら音に合わせてスキップやサイドステップをする練習を行いました。タメをつくって強く蹴り出すことで体を弾ませることができて、遠くへ進めることを学びました。北村先生は「シュートも同じではないか」とおっしゃっていましたが、NHL選手の弓矢のようにしなってはじき出すシュートとイメージが重なりました。先生の飛び跳ねるような走り方が印象に残り、自分の走りとは全然違うなと思いました。



スタートの練習では、速く走ろうと思って体に力が入ってしまうところを指摘されました。走っているときは、空中にいる時間のほうが長いので、足が地面に着くとき以外は力を抜いて走ることを教わりました。力を抜いてビートに合わせて飛ぶようにスタートする感覚がわかりました。今は先生に教わったことを思い出しながら、屋外リンクでスケートを履いて同じようにスタートする練習を続けています。アイスホッケーでは素早く方向転換するのが難しいため、一瞬で加速できるようになれば相手のDFを置き去りにしてゴールできると思うので、頑張りたいです。

○大雪アリーナでの貸切練習

【日時】平成30年12月23日（日）午前6時00分から午前8時00分まで

【場所】道北アークス大雪アリーナ

【研修内容】

大雪アリーナで2時間の練習枠を貸し切りで使わせていただきました。

走りながらパスレシーブしてすぐにパスやシュート動作に移ることを、バックスケATINGやトランジションしながら行う練習と、ゴール前でパスを受けてシュートする練習を、バリエーションをたくさん変えて行いました。

【研修を通して学んだこと・感想】

旭川のリンクでは、冬場でもいろいろなチームやフィギュアスケートなどの練習枠と社会人のリーグ戦の枠しかないため、個人練習をするには苫小牧や帯広に行かなければなりません。苫小牧や帯広まで行ったとしても個人で練習できる時間帯には地元の選手がたくさん来ているので、ぶつからないように気を遣いながらの練習になってしまいます。今回、大雪アリーナで思い切り練習することができ、とても貴重な時間でした。とても贅沢にリンクを使えてNHL選手みたいでした。時間を無駄にしないように走りっぱなしだったので、2時間でクタクタになりました。

今回の練習を行うために、アリーナスタッフの方々には通常営業前の時間にリンクを空けて製氷をしていただき、旭川のアイスホッケー連盟の方にも「夢応援プロジェクトのプレゼンを見たよ」と応援していただいたり、パックをたくさん貸していただきました。協力いただいた方々に感謝しています。



31の夢とチャレンジ

平成30年度 応募作品集

平成30年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト

【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

お笑いスタッフになりたい。

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

何かのお笑いや、新喜劇の裏側を
見てみたい。

～知リたーい～

- ・舞台に出る笑人は、何をしているのか？
- ・スタッフの行動は？

☆ チャレンジの実現に必要なと思うもの ☆

“特にできないけど””””

お笑い、新喜劇を見ること。

旭川市立永山南中学校 1年

平成30年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト
【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

西野カナのような 芸能歌手に なりたい。

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

- ・高校生頃、馬場の近くや田舎などで歌を唄ったりする。
- ・色々な歌のアプリなどを使って歌を投稿する。
- ・歌詞を作る
- ・あまり知られてない歌を届けたり伝えたい。

そして親孝行をしたい。

☆ チャレンジの実現に必要なと思うもの ☆

ファンやお客様に名刺を渡したり、連絡先をお教えたり、出演活動力をお考え
るなどが実現に必要なと思う。

旭川市立永山南中学校 2年

平成30年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト

【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

自分の仕事に誇りをもて、毎日成長する
一番最高と思える仕事につくことです。

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

☆職業体験

名前だけ知っている職業、興味のある職業などが、1つの会場で体験し、発見をたくさん得ることができるといい機会をつくっていただきたいです。

(例)

①	⑫	⑬	⑭	☆	⑪
②	並ぶところ				⑩
③					⑨
④	⑤	⑥	⑦	★	⑧

①～⑭ 仕事場
★ 仕事の案内するところ ☆ Xするところ

- 対象-中学生
- 会場-広いところ
- 時間-午前～午後(昼食も食べる)
- その他-食べ物関係の職場では、買い物もできるようにしてほしいです。

(直接お客さんとやり取りするため)

☆ チャレンジの実現に必要なと思うもの ☆

会場

お店の協力(体験してみたい所)

保育士、警察、病院、銀行、弁護士、テレビ関係、コンビニ店員、
記者、気象予報士、消防士、裁判係、先生、水道局、スーパー係

参加者

旭川市立明星中学校 2年

平成30年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト
【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

気象予報士になりたい！

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

夏休み頃に朝か、夕方のテレビ局に行きアナウンサー・気象予報体験をして、テレビにでてみたいです！

私が尊敬している気象予報士は、HTB、イキモイの「清水」さんです。理由は、上手な絵を使ってわかりやすく気象情報を伝えてくれるからです。なので、どうしたらより伝えるか、気象情報を伝える際に、大切にしている事を聞いてみたいです。あと、どういう勉強をすればなれるの？テレビにでていない人は何をしているの？なども聞いてみたいです。

☆ チャレンジの実現に必要なだと思うもの ☆

- ・テレビ局の了解
- ・色鉛筆
- ・清水さん
- ・黒マジック
- ・交通費
- ・スケッチブック

旭川市立明星中学校 1年

平成30年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト

【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

世界で活躍するフルーティスト

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

僕の憧れで尊敬するフルーティスト上野星矢さん主催のフルートの合宿に参加したいです。去年から開催されていて今年も夏休み、冬休み開催される予定になっています。去年の内容を聞くと参加者は学生を中心にレベルはさまざま、ワールドクラスの講師、教える内容も超一流世界の最先端の音楽や技術を熱意と共に教えることができます。参加したメンバーと合奏を楽しんだりフルート漬けの毎日を送ります。僕は1年生の2月に起立性調節障害という病気になり、体調が悪くなり、フルートをすることができませんでした。2年生の10月からレッスンを再開し、フルーティストになる夢を追いかけています。去年はコンクールに参加する事もできませんでした。今年はまたコンクールに挑戦する為、日々練習を積んでいます。合宿に参加できたら、自分が自信のある音の美しさを成長させ、少し苦みのある曲を奏でる事に挑戦したいです。上野さんは天才的な才能のある方なので指導を頂きたい。多くの技術者を吸収し旭川に戻ります。(去年の夏合宿長野、冬合宿静岡)僕の夢はもう一つあり、近い将来上野星矢さんに旭川でのコンサートを実現してもらいたいです。(自分で伝えた)札幌では一度だけ演奏を聴いた事がありますがもう一度あの演奏を間近で聴きたいです。このプロジェクトを通して僕は自分自身で未来への扉を切り拓いていきます。

※ フルード歴は7年目です。

☆ チャレンジの実現に必要なと思うもの ☆

合宿費用 周りの方の協力
夏合宿 学生 95,000円
冬合宿 未定
交通費 飛行機代など
自分のやる気

旭川市立永山中学校 3年

平成30年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト
【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆



看護師

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

自分の進路を明確にするため、中学生の間に色々な科のある病院で、「看護師1日体験」をしてみたいです。自分が患者として、接する看護師の姿だけではなく、目に見えない所での大変さや努力する姿をぜひ知りたいです。看護師は、あこがれただけではなれないと私は思います。全てを知り、看護師になるために足りない物を見つけて努力します。これが私が今、チャレンジしてみたい事です。

☆ チャレンジの実現に必要なと思うもの ☆

- ・理解や協力してくれる病院
- ・ご指導いただける看護師さん
- ・応援してくれる家族

旭川市立中央中学校 1年

平成30年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト

【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

音楽家として、日本の音楽界を欧米に負けないくらいのものにしたい

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

- ① 中学生の間に、長期休暇を使って、2週程度の語学+音楽留学のプログラムに参加したい。歴史の中で様々な音楽の形を生み出した欧米で、吹奏楽に必要な語学と本場の音楽を学び、自分の力を試したい。
- ③ 吹奏楽やオーケストラが演奏する曲は、言葉と形がないので、目には見えないですし、読んだりすることもできません。ですが、映画やドラマ、アニメの挿入歌などは、ただ流れているだけで、人物の心情や場面の雰囲気などを伝えてくれます。また、聞く人の感情に寄り添って、心を落ち着かせたり、明るくさせたりもできます。私は、ある方の演奏を聞いて、自分の世界が変わりました。以上のことから、私は、音楽は人と強く結ばれていると思います。
私は、「音楽」をつくるすべての人々を尊敬し、自分もそのような職につきたいと考えています。そして、次の世代へと音楽の良さを伝えられたら、と思います。いつの時代にも音楽は必要です。そのために、音楽の本場のカを借って成長することが必要だと思っています。

☆ チャレンジの実現に必要なと思うもの ☆

- ・音楽用語の本来の意味を理解できる、また、世界で活躍できるような語学力
- ・音楽的な知識・技能
- ・新しいことに挑戦する力
- などを育むための
短期プログラムの語学+音楽留学
☆親の協力 (30~40万円程度)

旭川市立永山中学校 3年

平成30年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト
【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

公安警察になりたい。

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

1. 公安警察の方に、インタビューや講演会のような本やネットだけでは分からないような事を聞きたい。なぜなら私にはまだまだ時間はあつたので、着実に実力をつけるための参考であつたり、お手本にし準備期間を有意義なものにしたいから、できれば、相手の方が女性だと同性ならではの事なども聞けると思うので、女性だと特にありがたい。
 2. できる事ならば、実際に公安の方が働いている現場を見てみたい。現場のふんいきや、働いている環境などを見て、その場から感じとれる事などから逆算して考えて、今の自分に何が足りないかなどをもう一度見直して、自分自身のスキルを上げて、公安を目指したいから。
- 。上の2つは長期の休みに行えたら一番うれしい。なぜなら、多少の自由はきつから。
- 公安のOB、OGでも良いと思う。

☆ チャレンジの実現に必要なだと思うもの ☆

公安の方とお会いするのに、ふさわしい会場や、人件費(又は出張費)そして、こちらから本州へ行くにしても、あちらから北海道へくるにしても、かなりの旅費が必要だと思う。さらに、春、夏、冬休みとなるとどうしても旅費も高騰するので、ホテル代なども含めたとしても、うとうな額が必要だと思う。そして、都合のあつ公安の人にも必要だと感じる。

旭川市立北星中学校 2年

平成30年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト
【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

オリンピック選手になる!!

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

11月にある アメリカ遠征に行ってスキー技術の
レベルアップをしたいです。

そして 全国中学校スキー大会

スラローム 2連覇、ジャイアントスラローム優勝

ジュニアオリンピック スラローム 2連覇、ジャイアントスラローム優勝
をして世界を目指します。

☆ チャレンジの実現に必要なだと思うもの ☆

アメリカ遠征は 60万円かかるので少しでも、
親の負担を減したいです。

旭川市立啓北中学校 3年

平成30年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト
【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

小学校の先生(特に歴史がとくいな)になりたい。

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

僕は、兵庫県の姫路城を見にいきたいです。

理由は僕は昔から日本のお城が大好きで、歴史が
好きになり、小学校の先生になったとき生徒に、日
本の歴史や'お城のことを色々教えたいと思ったから
です。そこで、世界遺産でもある、兵庫県の姫路城に
実際にいき、たくさん、お城を勉強したいと思ったからです。

☆ チャレンジの実現に必要なと思うもの ☆

兵庫県姫路市までいくためのお金、
姫路城にいくためのお金、
とまるためのお金、
帰ってくるまでのお金。

旭川市立北門中学校 2年

平成30年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト
【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

藤本選手みたいなゴールキーパー

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

スミイルジャパンの選手に、シュートをうってもらったり、キーパーの選手に、一番すばやく、フェイントを止める方法を教えてもらったりして、試合をのびに金月希をすぐらい、糸練習をたくさんしたいです。

バタフライ、シャッフル、Tフッシュ、バタフライスライド、などを、いままでよりも、もっとはやくできて、それぐらいはやくできるようになりたい。

13のときに、ホッケーの教室があってそこから、サリバーズに入って、そして16の時に、キーパーをやってみたいということと、キーパーを始めました。くせになって、キーパーを本格的にやり始めました。

☆ チャレンジの実現に必要なと思うもの ☆

必要な人は、藤本選手と、プレイヤー、防具、お金、水、汗ふきタオル、努力、体力、

旭川市立東明中学校 2年

平成30年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト
【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

バレーで旭川選抜友に入って旭川で1番のプレイヤーになりたい

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

フローターサーブ(上サーブ)が出来るようにしたい、
強烈なスパイクを打ちたい！
高いトスをあげられるように

になりたい！

レシーブを極めたい！！

2年生になる前ウオレアス北海道の選手に教えて
いたきたい

☆ チャレンジの実現に必要なだと思うもの ☆

ウオレアス北海道の選手

旭川市立永山中学校 1年

平成30年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト
【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

・医者になって、たくさんの人の役に立ちたい

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

・実際に総合病院などの大きな病院で
どんな仕事をしているのか見学したり、話を
聴いてみたい。特に「小児科」「救命救急」を見たい。
・実際に見たり、聴いたりすることで、医師に必要なこと
が分かり、今から少しずつでも準備していきたい。
そしたら1歩でも夢に近づけると思う。
なので実際に病院に行ってみ学をしてみたい。

☆ チャレンジの実現に必要なと思うもの ☆

・病院、医師

北海道教育大学附属旭川中学校 1年

平成30年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト

【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

自分も楽しめながら、人にサービスを提供して、人にも喜んでもらえる仕事をしたい。

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

ディズニーのサービスは顧客満足度がとても高いと言われています。
行きたいとは思いますが、キャストが自分から喜んでサービスを提供
できるディズニーランドの仕事の仕組みを学んで、将来、人のために
自分も楽しく仕事ができる勉強をしたいと思います。キャストの体験もしたいです。

行予定日(夏休み)

場所

7月27日 - 8月2日

ディズニーランド

☆ チャレンジの実現に必要なと思うもの ☆

飛行機代・往復 50000円
(旭川発着)

宿泊日 7/27 ~ 8/2 → 費用 224000円
(1泊 32000円)

食事代 1日3000円 × 7 (21000円)

1人分だと 295000円

7人分だと 366000円

もしおにぎりやパンが食べられる場合は
+ 20000円

北海道教育大学附属旭川中学校 3年

平成30年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト

【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

数学者になりたい。

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

- 自ら多くの数学の理論に触れて、それを広めることで日本人の数学に対する興味の向上。又、原理について関わることで自身の数学の知識の獲得を最終目標としたチャレンジを行いたい。
- 知識をより多く獲得するための手立て
 1. 数学に関わる多様な書物を読む。
 2. 数学者、科学者 などによる講演 (講演の会場や日程、人物などは定めていませんが、東京大学、札幌大学を想定しています。)
 3. 数学に関連する地域へ調査 (京都府の東大寺の仏像の調査。これは、「算額1・2・3」を解くためのツールとなる)
 4. 公益財団法人日本数学校定協会の開催する「数学甲子園」や「算額1・2・3」に参加
 5. 数理検定協会による数学能力検定試験の受検

※ なお、数学甲子園は7月29日に札幌市で予選が行われ「算額1・2・3」は9月7日までに解答を協会へ郵送か、WEBで送信することで、応募ができます。そして、「数学能力検定」は自宅での受験が特別団体申し込みによって受検ができます。
- 今まで全ての数学者はもともと、どんな人でも必ず素数というものに直面してきたが、誰もその素数の原理について全く知らない。なので、この機会に素数を研究し、素数がどのような判断するための方式の作成をしたいです。この研究は、果て無き物を掴み取るため、メインとして進めたい。
- 自作の法則を発表したい。
今までに、何千、何万人もの学者達が学問における法則を見つけてきた。私も、世の中において重要で、画期的な法則を見つけて、公表をしたいです。

☆ チャレンジの実現に必要なと思うもの ☆

- 数学の書物及び文具 (文具は、主にペリ、ノート、ファイルを目指す) — およそ6万円分。→ 知識の獲得
 - 電子辞書 — 2万円程度。→ 正確な言語理解
 - PC 及び USB メモリ — 15万5000円程度。→ 調査をまとめる、プログラミングの作成、まとめた調査の保存。
 - 電車 — 5000円程度。→ 綿密な計算の手助け。
 - 調査 — およそ24万円。→ 知識及び経験の獲得。(24万円は、移動費、食費、滞在費、調査費の合計)
 - 試験 — 1万円想定。→ 得た知識・経験の数値化
- 累計: 49万円。

北海道教育大学附属旭川中学校 3年

平成30年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト

【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

旭川初の宇宙飛行士になり、
世界の未来に貢献したい!!

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

僕は旭川初の宇宙飛行士になります!

そのために、チャレンジしたいことは、北海道初の宇宙飛行士である毛利衛さんに講義をしてもらうことです。なぜ毛利さんなのかというと、北海道初の宇宙飛行士なので小さいころからあこがれていて、余市の科学館にも行ったことがあり、とても興味深い内容のものばかりだったからです。毛利さんに話を伺い、「どのようにしたら宇宙飛行士になれるのか」「どのような勉強をしたらいいのか」など宇宙飛行士になるために必要な知識をたくさん吸収したいです。そのような経験ができればきっとどんなに辛い時にもくじけずに夢に向かって頑張ることができ我想います。そして、宇宙飛行士になり故郷である余市町を盛り上げられている毛利さんのように、僕も世界の未来に貢献し、旭川市を盛り上げたいです。他にも、例えば「静岡大学での宇宙エレベーターについての研究や、東北大学での月面着陸のプロジェクトへの参加など」のように、宇宙工学を研究している大学教授と交流し、宇宙についてや、宇宙工学について学びたい
(裏に続きます)

☆ チャレンジの実現に必要なだと思うもの ☆

筑波等への交通費、宿泊費、毛利衛さんや大学の教授、宇宙センターの方の協力
チャレンジする気持ち

☆今チャレンジしてみたいこと(つづき)☆

(表からつづきます)

です。なぜなら今、日本人宇宙飛行士に求められているのは、手の器用さなどを生かした、技術的・身体的なところだと考えているので、僕は宇宙工学などを学びたいです。また、可能であれば、筑波宇宙センターで模擬訓練も体験し、宇宙飛行士になるには、どのようなことが必要になってくるのが自分の体で体験したいです。

そして僕は、宇宙というのは様々な可能性を秘めていると考えています。これからの宇宙は専門的な研究のみにとどまらず、産業や工業などの未来を大きく変えることになると思います。

その宇宙について学び、宇宙飛行士として様々なことを研究することで、少しでも世界の未来に貢献できる人になりたいです。そのために今から英語やロシア語などコミュニケーションをとるのに必要な語学や学校の学習をおろそかにせず、宇宙飛行士という将来をしっかりとみず行動していきたいです。

その第一歩としてぜひこのチャレンジを実行し

旭川市の宇宙飛行士になれるよう努力したいと思います。

北海道教育大学附属旭川中学校 1 年

平成30年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト
【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

柔道でオリンピックメダリストになること。

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

☆ 全国の柔道選手(同学年)と練習してみたい。

理由 今年の2月に東京に行われた柔道の全日本競技者育成合宿でたくさんの経験をし良い刺激になったのでもう一度、全国の皆と練習をし自信をつけたいから。
先生は、重量級で活躍しているまた、してきた選手。
場所は、東京の講道館

☆ チャレンジの実現に必要なだと思うもの ☆

先生(講師)、宿泊、移動(飛行機など)のお金
参加の用紙、第14回全国小学生学年別柔道大会に出場した選手。

旭川市立中央中学校 1年

平成30年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト
【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

柔道でオリンピックに出場し優勝して、今まで支えてくれた方々に恩返しをする。

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

いつか日本代表になり 大きな舞台で柔道がしたいので
全国各地の色々なタイプの選手と練習したり
有名な先生に柔道を教えてもらうなどして
自分の柔道の欠点を知ったり、技をさらに向上させる
ことで夢に少しでも近づけることが出来るし
思いました。

☆ チャレンジの実現に必要なと思うもの ☆

積極的に 講習会や合同練習や合宿に行くことや
全国大会に見に行くなどをして自分の実力を上げる。

旭川市立中央中学校 1年

平成30年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト
【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

ノーベル賞を受賞する物理学者

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

アインシュタインも通っていたチューリッヒ工科大学に進学したいです。

・自分でお金をためて、iPhone[®]を買いたい。
また、高校では、物理に力を入れている学校にいきたい。

チューリッヒ工科大学はスイスにあり、スイスではいろいろな言語が話されているのですが、英語を完璧にしゃべるようになり、その次はドイツ言語をしゃべれるようになりたい。
物理についての本を今以上に読んでいきたい。
もし、ノーベル賞を受賞できたら、3万円などの賞金が入るお金を寄付したいです。
今注目されている物理学者のこゝろを聞いて、物理の基礎を知りたい。

☆ チャレンジの実現に必要なだと思うもの ☆

研究費や参考書などのためのお金。また、研究に専らとることができるような設備。自分と気が合うような人。

北海道教育大学附属旭川中学校 1年

平成30年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト
【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

医師 になりたい

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

僕は、ふかい時に、まだ1才だった大好きな弟を事故で亡くしました。
僕は近くにいたのに何もできずに、ただ立ちつくすばかりでした。
そしてこの時初めて、僕はそれまで身近に毎日あたりまえのようにいる人の
死を、弟を亡くして知りました。その時から、弟をどうしたら助けられたか、
こんな悲しい思いをする人をなくしたい。と、強く思うようになり、医師という
夢を抱くようになりました。その夢を実現するために、現場のお医者さんの
声や様子などにふれてみたいです。そして、これからの学生生活で1番大切な
勉強を夢のために頑張って、意識を高くもってたくさんの事に取り組んで
いきたいです。

☆ チャレンジの実現に必要なと思うもの ☆

○ 医師の話を知ったり、医療の現場にふれること

旭川市立東明中学校 2年

平成30年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト

【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

「伝える」を大切にね アナウンサー になりたいです。
画面を通してその場で起きたことを美しい言葉で伝え、視聴者に疑似体験してもらいたい。

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

広島平和記念資料館に行き、平和について考えたい。

将来の夢を叶え、将来に伝えていきたいもの。それは、戦争の記憶。
戦争を体験した親戚に話を聞いて、当時の新聞を読んでレポートを書いたり、作品を見たりして
関心を持って学んでいます。
そのなかで、いちばん印象に残っているのは、去年見た広島の「市民が描いた原爆の絵」。
「悲劇は繰り返されてはならない」。絵はその思いを、私たちに訴えかけてきました。
そして実際に、ヒロシマの地に足を運びたいと思いました。
このプロジェクトで私を、広島平和記念資料館に行かせてくれるなら、
戦争の記録や悲惨を15歳の自分の眼で今、みたいのです。
原爆が落とされた夏、の広島で周辺を歩き、平和公園や原爆ドームをみて、被爆者のお話を聴きたいです。

☆ チャレンジの実現に必要なと思うもの ☆

- ・航空券
- ・宿泊場所
- ・「被爆体験講話」の予約
- ・同行者(記録するにめ)
- ・「ヒロシマピースボランティア」をきくこと

北海道教育大学附属旭川中学校 3年

平成30年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト
【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

英語通訳者になりたい

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

- 。冬休み中、英語圏へ留学し、英語や文化、伝統などを学び、英語通訳者になるために必要な能力や知識を身につけたいです。
- 。私は、学校の英語の授業に来てくれる外国の先生としかコミュニケーションをとったことがなく、外国の人と関わるのが慣れていないので、英語圏への留学を通し、外国の人と積極的に話せるようになりたいです。

☆ チャレンジの実現に必要なと思うもの ☆

- 。ホームステイ先（日本人が少なく、治安がよい）
 - 。留学金
 - 。パスポート（持っている）
 - 。自分の英語力
- 多いと、日本語で会話を
してしまったり、日本人に甘えて
しまうため。（英語が上達しない）

北海道教育大学附属旭川中学校 2年

平成30年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト
【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

アイスホッケーでオリンピックに出たい。
練習する環境のない旭川からでも、頑張ってホッケータウンの選手たちに勝ちたい。

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

毎年夏にカナダ、アメリカ各地で開催されているホッケーキャンプに参加して技術を学ぶほかに、世界のレベルを感じたり、他の国のホッケーをやっている人たちと話をしてみたい。NHL選手の練習を見学してみたい。
旭川では年間を通してホッケーをできないので、ホッケーをやっている人も、他の部活がメインで、冬に合間をぬってやっている人ばかりだから、トップレベルを目指してやっている人達と接してみたいし、自分のためになると思う。北米のホッケーを指導するライセンスを持ったコーチがどんなことを教えてくれるか知りたい。日本にはホッケーの本拠地旭川では教えてもらえるチャンスがないので、普段は、YouTubeで海外のサイトを見て練習しています。

☆ チャレンジの実現に必要なと思うもの ☆

普段の努力が一番必要ですが、学校のあとに札幌のチームに通って練習をしています。練習がない日は家でハンドリング、シュートの練習と、陸トレをしています。英語力も必要ですが、ずっと勉強をつづけていて、英検準1級とTOEIC825点とっています。渡航費、キャンプ参加費、現地滞在費などが必須です。

北海道教育大学附属旭川中学校 1年

平成30年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト
【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

北海道日本ハムファイターズの中島卓也選手のような
プロ野球選手になりたい!

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

- ・ 追い込まれても粘れるバットイング技術を身に付けたい。
- ・ どんな球がきても、最後まであきらめない強いメンタルにしたい。
- ・ 野球人として、人として、手本になるような人間になりたい。
- ・ 中島卓也選手のような守備ができるようになって、プレーでチームを引っ張れるようになりたい。

☆ チャレンジの実現に必要なと思うもの ☆

本当に中島卓也選手のようなプロ野球選手になりたいという
気持ち
中島卓也選手からのアドバイス
指導者

北海道教育大学附属旭川中学校 3年

平成30年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト

【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

ロケットを作る仕事をしたい！

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

僕は、小学生の時に2回、赤平町の植松電機で小型のロケットを作っています。だから、今度は自分1人でロケットを作りたいと思いました。植松電機で教えてもらったロケットの材料は、ホームセンターや通信販売で簡単に買えます。そして僕が作りたいロケットは、安全なロケットなので誰が作ってもいいんです。そしてロケットの燃料も、ホリエールなので簡単に手に入ります！みなさんは、ロケットは、簡単に作れないし民間人は、作れないと思っていますがそうではありません！このことを教えてくれたのも植松さんです。しかし僕は、まだロケット工学の知識はほんの少ししかありません。だから植松さんの話をきくと聞きたいです。僕が小学生の頃に聞いた話は、今でも忘れません。小学校低学年の時からずっとロケットを作りたいと思っていたが同級生や先生には「ロケットは、民間人は作れない、無理だ」と言われ続けられました！しかし植松さんの話を聞いて、夢は、あきらめなければ叶うと思いました。そうなのです、人はあきらめなければ、努力し続ければ、いつか夢は、叶います。だから今、でも夢をあきらめずにロケット工学などを覚えるは、将来かならず役に立ちます。小さなロケットも、大きなロケットも仕組みは変わりないからです。僕は、夢を絶対に諦めません！最後に「夢は自分が追い続ける希望の光」この言葉は一生忘れません。みなさんにもこの言葉を伝えてほしいです。

☆ チャレンジの実現に必要なと思うもの ☆

チャレンジに必要なのは知識です。何事も知識がなければ出来ません。だから今はロケット工学の知識を付けたいです。一番の難関はお金です。ロケットを作るにもロケット工学の本を買うにもお金が必要です。ロケットを作るにも数千万は、かかります。だから今は、お金をためています。そして一番大切なのは、諦めない気持ちです。何事も諦めたり何も出来ません。だから絶対に諦めません。また実際にジクサバサでロケットを見たり、打ち上げも見たい。

旭川市立中央中学校 2年

平成30年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト 【応募用紙】

★ 将来の夢 ★

1人1倍の動物への愛情・得意な人とのコミュニケーション どちらへの好奇心と探求心を生かした動物に関わる事がある仕事につきたい!

★ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ★

「世界中から集められた珍しい動物を、世界トップクラスの施設で見たりたくさん
アクティビティで動物の生態についてくわしく知り、知識を増やしたい」



そのために

アメリカの「サンディエゴ」動物園へ行きたい

ただ見て知る以外
に体験して知りた
い。

将来の夢について
じっくり考えれる今だからこそ

動物園では「命の大切さ」「動物の目線の気持ち」など様々な事を1度で学ぶことが
でき、自分の目でそれを確かめる事が出来ます。私は動物園の中でも「旭川動物園」
が好きです。それは上の「」の2つを学ぶための環境が整っているからです。それ
は、園長さんの話を身近にきけて、こたわりの施設で展示しているからだと思います。し
かし前から気になっていた世界トップクラスの動物園に行き、本当に学ぶための環境
があるかを知り、もっと自分の視野を広げたいです。

★ チャレンジの実現に必要なと思うもの ★

- ・交通費 (動物園までの移動)
- ・飛行機代 (旭川→東京→アメリカ)
- ・ホテル代 (5.6宿分)
- ・食事代 (1日3食分×5.6日)
- ・動物園代 (3日パック)

- ・保護者 (母)

- ・坂東元 園長との同行費

可能
であれば、ぜひ

(園長と行くと私がただ動物園を見て気
づく事より深くしり、気づけそうだから。
また、動物の色々な話をきけて、自分の知
識が広がり将来の夢が実現するから。)

北海道教育大学附属旭川中学校 1 年

平成30年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト

【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

一人前のボカロP(ぽかろぴー)になりたいです。そして、ボカロ
P(ボーカーロイド)の良さを広めたいです。

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

- ①夏季休業(7月26日～8月19日)か冬季休業(12月22日～1月15日)の
長い休みの時に静かで、少し広々とした場所にて
実際にネカ音ミクのボカロ曲を作ってみたいです。
そして、ボカロ曲を作るたいへんさを知らず夢をかなえるの
にいかしたいです。ボカロ曲のつくり方もまよぼえたいです。
- ②40mPかヒロキオローさんに会って、ボカロ曲をつくるコツやボカロ
PのたいへんさなどボカロPに関わることを聞きたいです。
ここで教えてもらったことをいかし、ボカロ曲をつくる時にいか
したいです。また、教えてもらった事をいかし、どうやって、夢を叶
えていくかを考えていきたい。

☆ チャレンジの実現に必要なと思うもの ☆

お金、パソコンなどの機械。努力(あきらめない力)、場所。
時間、知識。いろいろな人の協力。

旭川市立神居中学校 1年

平成30年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト

【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

緑が丘中学校陸上部、日本一！
そのために、今年全国大会に出場する！
最終的には、オリンピック選手を輩出する！

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

緑が丘中学校から日本一の選手を出したい。そのために今年全国大会に出場したい
キャプテンとして全国を目指し自分が叶えられなくても、後輩にこの夢を託し、
緑が丘中学校の悲願を達成したい！
そのために今、練習環境を整えたい。平日はグラウンドが使えないので道路で練習を
している。そのため地面がコンクリートでよく足を痛める選手が多い。なので安心して
練習できる陸上部用の練習場所を確保したい
校舎の裏側にはあまり利用されていない30mが5レーンほど取れる場所がある
そこを整地して陸上部の練習場所としたい。平らにし全天候用走路を敷き詰めれば、
雨でも練習ができ、本番と同じ走路で練習できることは、夢の実現には欠かせない。
だから緑が丘中学校の練習環境を整備し、日本一になりたい
そして環境を残せば後輩たちと夢を追う場所を残すことができる
キャプテンとして大好きな陸上競技に打ち込める環境を残したい

☆ チャレンジの実現に必要なと思うもの ☆

陸上部専用の練習場所（全天候用走路）を確保する
校舎裏側を使用することの学校の許可（すでに了承をもらっている）
校舎裏側の整地作業。部員で平らにする。土の購入。10万円程度
全天候用走路（2mで7150円）を購入 60m×2レーン＝429000円
不足分を部活動費で補う

旭川市立緑が丘中学校 3年

平成30年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト

【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

スノーボード ハーフパイプ。種目でオリ
ンピックに出場して金メダルをとる予定です。

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

山梨県のみさか、室内ハーフパイプで1週間、ナショナルチームのコーチの村上大輔さんに個人レッスンをしてもらいたいです。540度の回転技を完成させるためにレッスンをしてもらいたいです。540度を完成できたら来シーズンの大会の技として使えるので、オフシーズンに完成させたいなと思いました。
1日目は移動日で、6日間滑って6日目2時間くらい滑ったら帰ってくる。

☆ チャレンジの実現に必要なと思うもの ☆

交通費	旭川から羽田の飛行機	40000円 × 2
	移動に使うレンタカー1台	6000円 × 6日間
トレーニング費	みさかのハーフパイプ使用料金	× 6日間
宿泊費	1人6000 × 1週間 × 2	1日3500円
コーチング料	10000 × 6日間	合計20万5000円

旭川市立光陽中学校 1年

平成30年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト
【応募用紙】

★ 将来の夢 ★

ゲームプログラマーになりたい

★ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ★

夏休みに東京で「Life is Tech」のキャンプに参加し、プログラミングについて学び、その後バンダイナムコの会社に行きゲームを作る上で大切なことを学び、東京で学んだことを生かし実際にゲームを作りたい。

どのように夢につながるか。プログラミングの事

・ゲームを作る上で必要な知識を学び、その知識を生かせるようになるため、糸原馬史を模範人にアドバイスをもらい、その学んだ事を実際に使う事により将来的につかつかをやしなうことでプログラマーの夢に近づくと思ったから

★ チャレンジの実現に必要なと思うもの ★

・Life is Techのキャンプの参加費
パソコン(ゲームを作るのに必要だから)

北海道教育大学附属旭川中学校 2年

平成30年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト

【応募用紙】

☆ 将来の夢 ☆

刀工、刀鍛冶、刀剣石开磨師、研削師
 (水心子正孝や備前長船康光のような刀を手本にする)
 (刀鍛冶、石臼師の兼業)

☆ 将来の夢を叶えるために、今チャレンジしてみたいこと ☆

今現在、将来のために刀の鞘を作ったり、石臼ぎを練習したりして
 将来に備えているが、刀を作るには免許を取得しなければならない
 ので、免許を持つ刀工に弟子入りしなければならないが、弟子入り
 する刀工が北海道に少なく、本州に出たとしても弟子入りさせてくれる
 刀工を見つけるのがまず先。Twitter等で刀関係の方(京都にある博物館
 の学芸員、刀工、砥石師、柄巻師、etc...)と話し勉強したりして先知識だけ
 はあるが技量を磨くには弟子入りしなければならないので、弟子入りする刀工を探す。
 今、旭川にいる三条派の砥石師に少し習っているが、その方は包丁が専門で
 刀は砥石がないので、刀剣の砥石は独学。たまに天然砥石の採取に行き、
 砥石は数多く取持しており、アイヌ文化も学んでいるのでアイヌの刀について研究。旭川市
 博物館にいる仲良い学芸員さんに話を聞きに行ったりする。最近職人サークルに入った。

☆ チャレンジの実現に必要なだと思うもの ☆

良い刀匠に弟子入りし、五年の修行をし免許をとる。
 砥石師として名を売るためにTwitter、日刀報(全日本日本刀保存協会)が出す
 刀剣誌、HPにも載る...ために修行させてくれる刀工を探す。
 だから私が愛するこの旭川市で弟子入り先の面影をみつけたい。

旭川市立中央中学校 3年



旭川市シンボルキャラクター

あさっぴー



旭川市キャラクター

ゆっまりん

平成 30 年度 あさひかわっ子☆夢応援プロジェクト
チャレンジの軌跡 <記録集>

編集・発行 平成 31 年 3 月
旭川市子育て支援部子育て支援課青少年係
〒070-0037 旭川市 7 条通 10 丁目
旭川市第二庁舎 5 階
TEL (0166) 25-9847
FAX (0166) 22-3275